

文部科学省 情報ひろば 『サイエンスカフェ』

主催：日本学術会議、文部科学省

参加無料です

毎月第4金曜日の夜にサイエンスカフェを定期開催しています。
平成23年度・第4回を、次のとおり開催いたしますので、テーマに少しでもご興味がありましたら、お気軽にご参加ください。

日 時 平成23年7月22日（金） 19:00～20:30
場 所 文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）
主 催 日本学術会議、文部科学省
講 師 川口 健一（東京大学生産技術研究所 教授）
ファシリテータ 毛利 衛（日本学術会議会員、日本科学未来館館長・宇宙飛行士）
テーマ 「想定外を想定する新しい天井システムの考え方」

定 員 30名
参加費 無 料



3月11日の東日本大震災では、建物には大きなダメージはないのに、天井が崩落した例が多数ありました。死傷者も出ています。なぜ、天井が落ちる被害が多発したのでしょうか？ 現在、広く一般的に使われているのは「吊り天井」というタイプです。名前の通り、屋根裏や梁などから金物を使って天井ボードを吊り下げる仕組みになっています。

震災で落ちた天井を修復する際に、抜本的な見直しをせずに補強材を加えるなどの措置ですませれば、次にさらに大きな地震で、また崩落を繰り返す危険性があります。

抜本的な解決策は実は簡単です。「天井に重い素材を使わないこと」。これだけで、天井は落ちにくくなるだけでなく、たとえ想定外の大きな地震が来て落ちたとしても、人的被害はずっと小さくなります。

本当の意味での安全な建物、安心できる建物をぜひ一緒に考えてみましょう。